

熊野学区地域まちづくり計画

～一人ひとりが主役のまちづくり～



2014年（平成26年）3月

熊野学区まちづくり推進委員会



熊野水源地と常國寺



はね踊りの様子（文化祭にて）

あいさつ

～点が連なり線となり、線が並んで面となるようなまちづくり～

福山市協働のまちづくり行動計画に基づくまちづくり事業の取り組みも、8年が経過しました。この間、行政と連携をとりながら事業・補助金の交付を受け、熊野学区固有の年間事業に加えて、新たにキーワードモデル事業（学区提案型）として、活力、安心・安全、福祉、教育、そして環境をキーワードとして、花咲堂ホテルの里づくり会による里づくり事業を年次的に取り組み一定の成果を見ることが出来ました。

また、2010年度（平成22年度）から高齢者外出・買物支援事業、2012年度（平成24年度）からは住民参加型施設等整備事業として、熊野ふれあい広場「クローバー」を設置し、持続可能な事業となるよう努めています。

新規事業としては、本年度より「ひろしま森づくり事業」（地域資源保全活用事業）の一環として、一乗山城址整備事業の具体化を見ており、やっと活性化の道のりを歩き始めスタートラインに立った感がいたします。

これも、平素よりまちづくり推進事業に対し、行政そして地域の皆さんの温かいご理解とご支援、ご協力の賜物と感謝いたしております。

市制施行100周年となる2016年度（平成28年度）に向け、『市民一人ひとりが各地域で「まちづくりの主演」として協力し合い、いきいきと活躍できるまち』の実現をめざすための“第二次福山市協働のまちづくり行動計画”に基づき、熊野学区も地域まちづくり計画を策定いたしました。新生熊野町をめざし、実施プランにより2014年度から短期・中期・長期的に事業を推進していきます。

事業推進に当たり、過去に歩んできた足跡を踏まえての反省課題として

1. まちづくりは人づくり（事業は人業）といわれるように、一人ひとりがまちづくりの主演です。社会の成員としての自覚と問題意識をもって事業に参加し役割を果たす。
2. まちづくり事業が小グループや組織で固まりがちで閉鎖性が見られ、まちの中の点的な活動に終わることがないよう、活動が地域ぐるみの「面」となるような活動でありたい。
3. まちづくりは世代を越えた仕事です。シニアの持つよさと若者の持つよさが交わり、時代に即した不易流行のバランスのとれた活動内容が望ましい。

上記のことがあげられるが、地域住民や訪れた人が「ありがたみ」を感じるようなまちづくりに努めていきましょう。

2014年（平成26年）3月

熊野学区まちづくり推進委員会委員長 貝田 哲郎

目 次

あいさつ	1
1 はじめに	
計画策定の目的	3
2 まちづくりの推進	3
(1) 計画の期間	
(2) 「協働のまちづくり」とは	
(3) 「まちづくり推進委員会」とは	
3 熊野学区の概要	4～6
(1) 位置	
(2) 面積	
(3) 地質	
(4) 地名	
(5) 歴史	
(6) 世帯数・人口の推移（住民基本台帳による）	
(7) 学区年齢構成	
(8) 熊野学区の主な施設	
4 熊野学区の現状と課題（住民アンケート・住民学習会からの声）	7
(1) 現状	
(2) 課題	
(3) 熊野学区の将来像	
5 熊野学区まちづくりの重点目標	8
6 分野別まちづくりの基本方針	8
7 課題解決に向けた事業の実施主体とスケジュール	9
8 熊野学区まちづくり推進体制	10～11
(1) まちづくり推進委員会の組織・所属団体	
(2) 事務局体制	
(3) 実行委員会組織	
9 熊野学区まちづくり計画作成資料	12～16
(1) 住民アンケートの集約結果	
①アンケート回収状況	
②設問項目ごとの集約結果	

1 はじめに

計画策定の目的

わが国は、世界的に見ても急激な高齢化が進んでいます。併せて、少子化に伴う人口の減少により、様々な問題が出てきています。

福山市は、こうした少子・高齢化に直面する課題の解決に向け、自分たちの住む地域において、将来への道筋や解決方法を、地域住民が自ら考え、住民が主体となって取り組む自主・自立の方向をめざしています。

そういう中で、熊野町に住む私たちは自分たちの地域を見つめなおし、地域課題や生活課題を出し合い、地域の将来像を住民みんなで共有し、安心・安全、熊野に住んでよかった、これからもずっと住みたいと思える「持続可能なまちづくり」をめざして行きたいと思えます。

昨年7月にみなさまにご協力いただいたアンケート調査や、住民学習会を通してお寄せいただいた熊野学区の現状・課題や将来像をまちづくり推進委員会・自治会長会で検討し、地域全体として取り組む際の指針とすることを目的とします。



じょうだいど きかまあと
上代土器窯跡

奈良時代の物と思われる。形状は舟形登窯。県史跡に指定。
須恵器や布瓦（福山城博物館 蔵）が出土。



2 まちづくりの推進

(1) 計画の期間

2014年度（平成26年度）を初年度として、1～2年を短期・3～4年を中期・5年以上を長期として取り組んでいきます。但し、社会情勢や地域住民のニーズの変化にも対応するため、必要に応じて見直します。

(2) 「協働のまちづくり」とは

地域住民一人ひとりが、まちづくりの主役として、個々の特色や個性を活かし、お互いに責任と役割を分担しながら、自主・自立のまちづくりをめざす取り組みをいいます。

(3) 「まちづくり推進委員会」とは

地域のみなさんが身近な地域課題を考え、解決に向けた取り組みを進めて行くうえで、中心的な役割を担う組織です。したがって、このたび提示しました「まちづくり計画」実施の中心的役割を担う組織になります。

委員会は、自治会連合会をはじめ各種団体で構成され、構成団体を大きく5部会（総務部、地域安全部、教育・文化部、福祉・健康部、環境部）に分け、地域課題の解決に取り組んでいきます。

3 熊野学区の概要

(1) 位置

沼隈半島のほぼ中央部にある。東は熊ヶ峰（438m）・北熊ヶ峰と、その南へ続く熊ヶ峰連邦、南の中心・夏霧山（350m）、北は彦山（430m）・馬背山（300m）、西はやや低い丘陵地帯に囲まれた盆地に位置している。

町の中心は熊野小学校付近で、海拔 70m、東経 133 度 22 分、北緯 34 度 25 分に位置している。

(2) 面積

18.6 平方キロメートル（東西 3.8km、南北 7.4km）

(3) 地質

6 億年前から 2 億年以前に海面下に積もった土砂の「古生層」が大部分である。小林から後東、上之原にかけては、百万年前の「第 4 紀古層」といわれる円礫を含む層が分布している。鳴から高下にかけては、「第 4 紀新層」が分布し砂壤土と粘土の積もった層で、良田地帯を作っている。

(4) 地名

古くは、山方、山田庄、山田郷といわれていた。福島正則の時代 1601 年（慶長 6 年）頃は山田村、水野勝成 1620 年（元和 6 年）によって、上・中・下の 3 山田村に分けられた。1875 年（明治 8 年）三村が合併して、熊ヶ峰にあった熊野神社に因み熊野村と改名した。1956 年（昭和 31 年）に福山市と合併し、福山市熊野町となった。

(5) 歴史

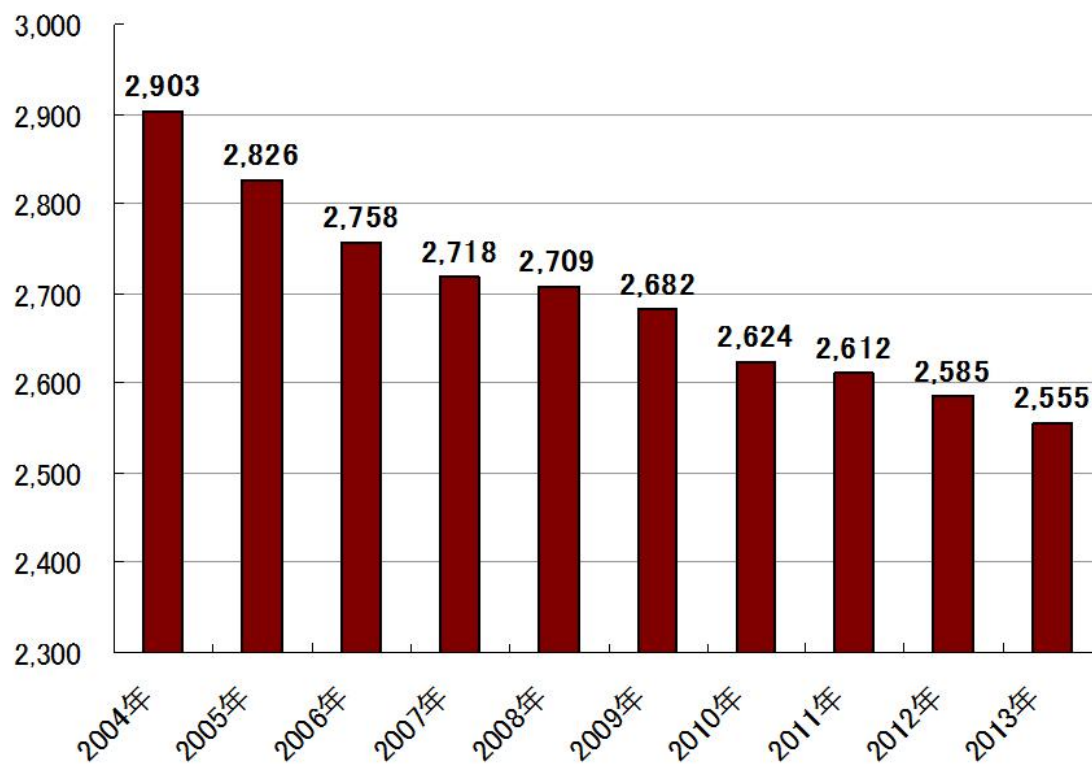
- ・古墳時代の出土品があることから、古代から人が住んでいたことは知れるが、その詳細はわからない。
- ・「古事記」に今の熊野であろうという記述が見られる。しかし、南北朝時代までは、熊野の地が誰の支配地であったかは判然としていない。
- ・1333 年（正慶 2 年）桑原伊賀守重信が山田に城（甲谷城・一説には山南の石浦城）を築いたといわれている。
- ・1480 年頃（文明年間）渡辺越中守兼が「一乗山城」を築いて熊野の地を治めたが、1600 年（慶長 5 年）関が原の戦いに敗れ廃城となる。
- ・1601 年（慶長 6 年）福島正則が安芸・備後の 2 国の領主となり、山田郷は山田村となったが、1619 年（元和 5 年）福島は改易となる。
- ・1619 年（元和 5 年）水野勝成が福山藩主となり、1620 年（元和 6 年）に山田村は上・中・下山田に 3 分され統治された。
- ・1871 年（明治 4 年）福山藩は福山県となり大小区制を定め、上山田・中山田で小 19 区、下山田・地頭分村で小 4 区とした。
- ・1875 年（明治 8 年）上・中・下山田村が合併し、村名を侮蔑語になっていた「山田サー」を嫌い、古社熊野権現神社に因んで「熊野村」とした。

「福山市熊野町誌」より抜粋

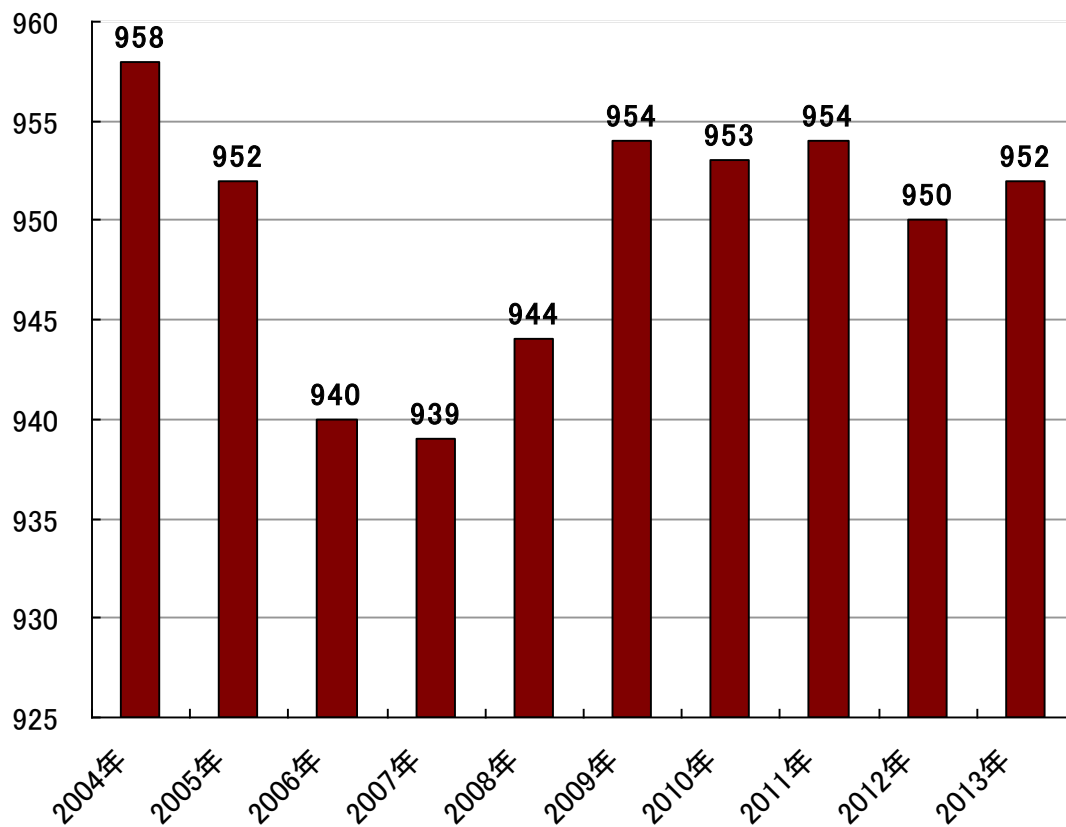
(6) 世帯数・人口の推移（住民基本台帳による）

2013年は11月末現在

(人口)



(世帯数)



(7) 学区年齢構成（2013年6月末現在）

年 齢	男	女	合 計	割 合
0～9歳	91	87	178	6.9
10～19歳	111	102	213	8.3
20～29歳	98	93	191	7.4
30～39歳	135	118	253	9.8
40～49歳	130	145	275	10.7
50～59歳	157	161	318	12.3
60～69歳	251	260	511	19.8
70～79歳	160	174	334	12.9
80～89歳	87	162	249	9.7
90～99歳	13	43	56	2.2
100歳以上	0	1	1	0.04
計	1,233	1,346	2,579	

※ 高齢化率（65歳以上の高齢者の人口に占める割合）34%

(8) 熊野学区の主な施設

- ・ 福山市立熊野保育所
- ・ 福山市立熊野小学校
- ・ 福山市立至誠中学校
- ・ 福山市熊野公民館
- ・ 福山市役所市民課熊野分室
- ・ 福山市熊野ふれあいプラザ
- ・ 福山市ファミリーパーク

- ・ 熊野ふれあい広場「クローバー」

- ・ JA 福山市熊野支店
- ・ 福山熊野郵便局
- ・ 社会福祉法人まりホーム熊野
- ・ 介護福祉施設悠芳園

- ・ かわばた歯科クリニック

- ・ 中川美術館



熊野小学校から見える遠望板



ふれあい広場「クローバー」

4 熊野学区の現状と課題（住民アンケート・住民学習会からの声）

(1) 現 状

- ・ 自然環境がよい
- ・ 近所付き合いがしやすいとしにくいという両方の声がある
- ・ 防犯・防災面が安心であると不安であるという両方の声がある
- ・ 買い物に不便であると便利になったという両方の声がある
- ・ 交通の便が悪い
- ・ 道路環境の整備が遅れている
- ・ 医療・福祉サービスが不十分である
- ・ 少子高齢化で、地域に活気がない
- ・ 鳥獣被害で困っている
- ・ 空き家が増加している



おでかけ支援号

(2) 課 題

- ・ まちづくりの啓発・広報活動を通して、住民の主体性の育成と、参加しやすい環境づくりの構築
- ・ 少子高齢化対策
- ・ 買い物不自由者に対する対策
- ・ 住民が安心・安全に暮らしていけるまちづくり
- ・ 地域の歴史や文化の継承
- ・ 環境の保全と整備
- ・ 高齢者や障がい者の福祉の充実
- ・ 子育て支援
- ・ 健康づくり
- ・ ボランティアの育成と活動の振興
- ・ コミュニティ活動の充実
- ・ 青少年の健全育成
- ・ 地域ぐるみでの子どもの育成
- ・ 人間教育の充実
- ・ 住民学習会のあり方



運動会の様子

(3) 熊野学区の将来像

地域の自然を守り、環境の整備を図り、更に、住民同士のふれあいを通じ、人と人とのつながりのある、一人ひとりが大切にされ、誰もが安心・安全に暮らせるまち、住みたいと思えるまちづくりをめざしていきたい。

また、若い人たちが定着し、発展できるまち、活気あるまちづくりをめざしていきたい。

5 熊野学区まちづくりの重点目標

熊野学区まちづくり推進委員会は、住民の皆様のアンケート及び住民学習会の意見を基にして、次の項目に重点を置いたまちづくりに取り組んでまいります。

- (1) 人と人との絆を深める
- (2) 高齢者・障がい者の福祉の充実
- (3) 環境の保全と整備
- (4) 防犯・防災・交通安全対策
- (5) 子育て支援
- (6) 地域の歴史や文化の継承



熊野小学校の卒業茶会

6 分野別まちづくりの基本方針

(1) 活力の分野

次世代の担い手の育成とまちづくりへの住民の主体的なかかわりの意識の高揚を図り、住民同士のふれあいの機会を通して、差別のない明るい住みよい、活力のあるまちづくりをめざしてまいります。

(2) 安心・安全の分野

安心・安全で快適な生活環境を作るには、住民一人ひとりが防災や減災・防犯や交通事故等の備えをしっかりと行うとともに、地域の連携による仕組みづくりが重要です。

そのために、防災や減災対策、防犯・交通安全対策等の情報発信を行い、安心・安全に暮らせるまちづくりをめざしてまいります。

(3) 教育の分野

少子化が進む中で、地域の子育て力を高め、子ども及び子育て家庭を支援してまいります。また、地域を活性化し心豊かに暮らすことができるまちづくりをめざしてまいります。

(4) 文化の分野

先人たちが築いた歴史や文化遺産を見つめなおし、後世に継承して行くとともに、家庭や地域の文化の創造に向けた取り組みを進め、郷土を愛する心を育み、熊野に住みたいと思えるまちづくりに取り組んでまいります。

(5) 健康・福祉の分野

子どもや高齢者・障がい者に対しては、地域から出されている様々な課題から、地域の実態を踏まえながら、地域住民に優しいまちづくりに取り組んでまいります。

健康は自分で守ることを基本に、地域全体で健康づくり・体力づくりを目指した取り組みを進めてまいります。

(6) 環境の分野

鳥獣被害や耕作放棄地・空き家の増加、山林や河川の荒廃などの課題から、環境の保全や整備を進めてまいります。更に、町内美化対策の取り組みも進めてまいります。

7 課題解決に向けた事業の実施主体とスケジュール

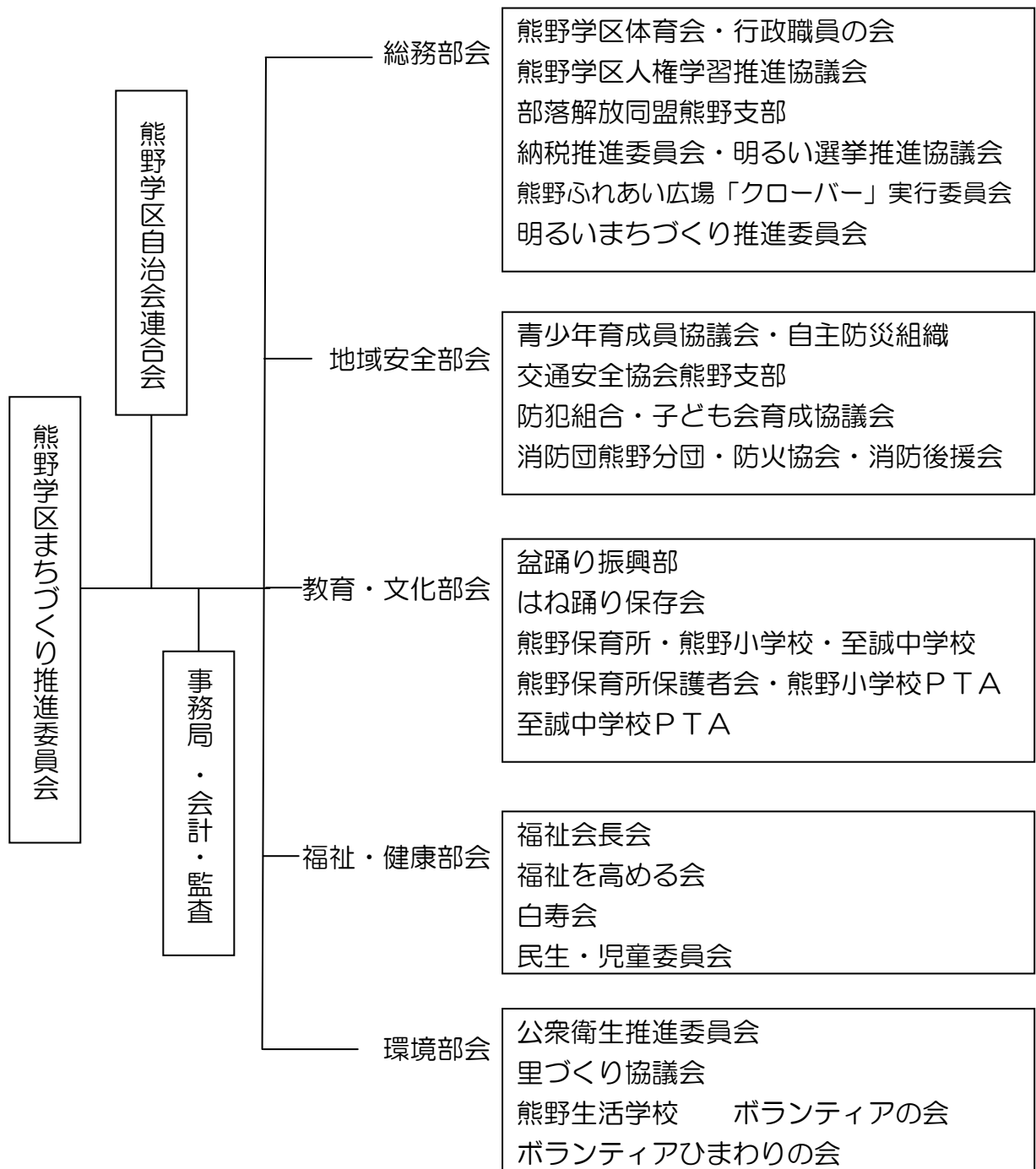
分野	取り組み内容	実施主体		目標期間
		学区	主な協働相手	
活力	後継者育成事業	○		中期
	まちづくり活性化事業	○	市	長期
	その他の活力事業	○		長期
安心 ・ 安全	防犯・防災・減災の推進事業	○	市	短期
	交通安全推進事業	○	市・警察	短期
	地域が連携した仕組みづくり事業	○		長期
	道路整備事業	○	市・県・警察	長期
	災害時備蓄基地整備事業	○		短期
教育 ・ 文化	地域子育て支援事業	○	市	長期
	教育支援推進事業	○		長期
	歴史・文化等の保存・継承事業	○		中期
	地域の文化創造事業	○		長期
	熊野アイデンティティー事業	○		長期
福祉 ・ 健康	高齢者健康福祉事業	○	市	長期
	障がい者の健康福祉事業	○	市	長期
	子ども福祉事業	○	市	長期
	学区健康・福祉事業	○	市	長期
	世代間交流事業	○		長期
環境	山林・河川対策事業	○	市	中期
	町内美化対策事業	○		長期
	環境保全整備事業	○	市	短期
	鳥獣害対策事業	○	市	短期
	空き家対策事業	○		中期

※ 期 間 … 短期(1~2年) 中期(3~4年) 長期(5年以上)

8 熊野学区まちづくり推進体制

7の課題解決に向けた取り組みは、熊野学区まちづくり推進委員会及び熊野学区自治会連合会を中心に推進してまいります。また、主要行事（運動会、精霊祭・盆踊り大会、敬老会・文化祭等）については、それぞれの実行委員会を立ちあげて事業を推進してまいります。

(1) まちづくり推進委員会の組織・所属団体



(2) 事務局体制 まちづくり推進委員長・まちづくり推進委員会各部会長
自治会連合会会長・自治会連合会副会長・自治会連合会常任理事
まちづくり推進委員会会計・熊野公民館

(3) 実行委員会組織

①運動会実行委員会

担 当 総務部会

所属団体 自治会連合会・体育会

熊野保育所・熊野小学校・至誠中学校

行政職員の間・解放同盟熊野支部

熊野学区まちづくり推進委員会部会長・熊野公民館

②精霊祭・盆踊り大会実行委員会

担 当 教育・文化部会

所属団体 各種サークル・はね踊り保存会・盆踊り振興部

熊野生活学校・ボランティアひまわりの会・ボランティアの間

白寿会・子ども育成協議会・交通安全協会熊野支部

熊野学区まちづくり推進委員会部会長・熊野公民館

③敬老会実行委員会

担 当 福祉・健康部会

所属団体 福祉を高める会・自治会連合会・自治会福祉会長会

白寿会・民生・児童委員会・行政職員の間

熊野保育所・熊野小学校・ボランティアの間

熊野学区まちづくり推進委員会部会長・熊野公民館

④文化祭実行委員会

担 当 教育・文化部会

所属団体 自治会連合会・盆踊り振興部・はね踊り保存会

熊野保育所・熊野小学校・至誠中学校

熊野保育所保護者会・熊野小学校PTA

至誠中学校PTA・行政職員の間・体育会

熊野生活学校・ボランティアひまわりの会

ボランティアの間・白寿会・子ども育成協議会

消防団熊野分団・交通安全協会熊野支部

JA熊野支店・盆栽同好会・各種サークル

熊野学区まちづくり推進委員会部会長・熊野公民館

9 熊野学区まちづくり計画作成資料

(1) 住民アンケートの集約結果

7月に実施しました熊野学区まちづくりアンケートの集約をもとに、熊野学区のまちづくり計画を策定しました。そのアンケートの集約結果をご報告します。

① アンケートの回収状況

上山田地区	79.7%
中山田地区	75.0%
下山田地区	86.8%

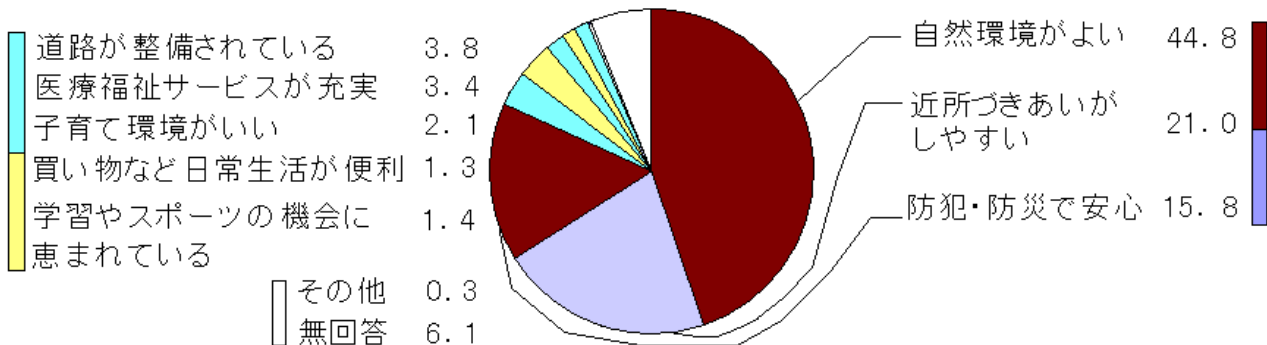
全体の回収率 80.5%

② 設問項目ごとの集約結果

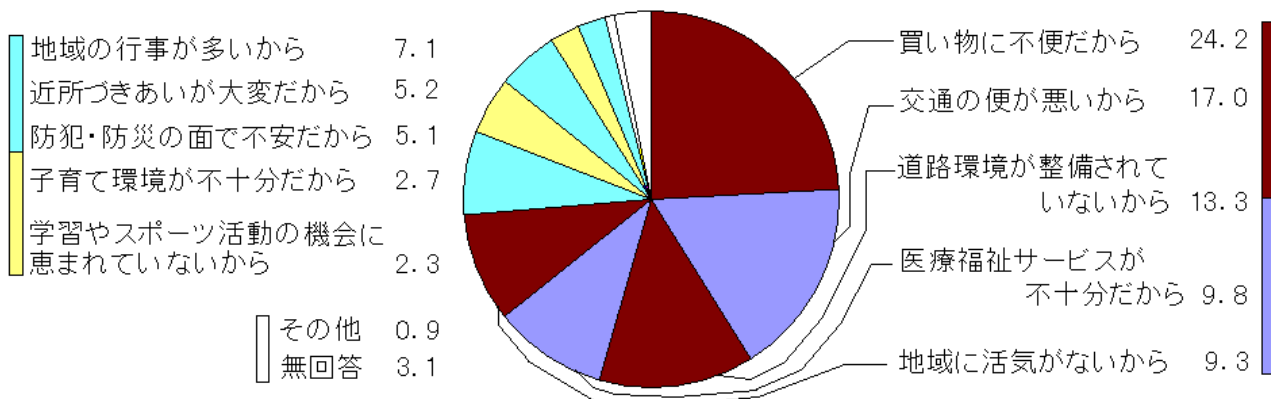
◆熊野学区地域まちづくり計画の策定に向けたアンケート調査集約

(数字の単位は全て%です。)

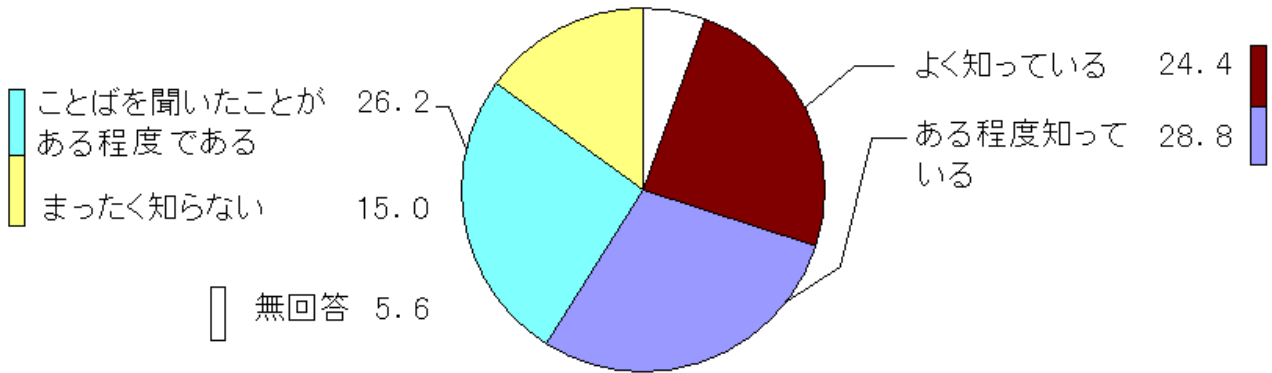
設問1 あなたの地域で「住みやすい」と特に思うところは何ですか。(複数回答可)



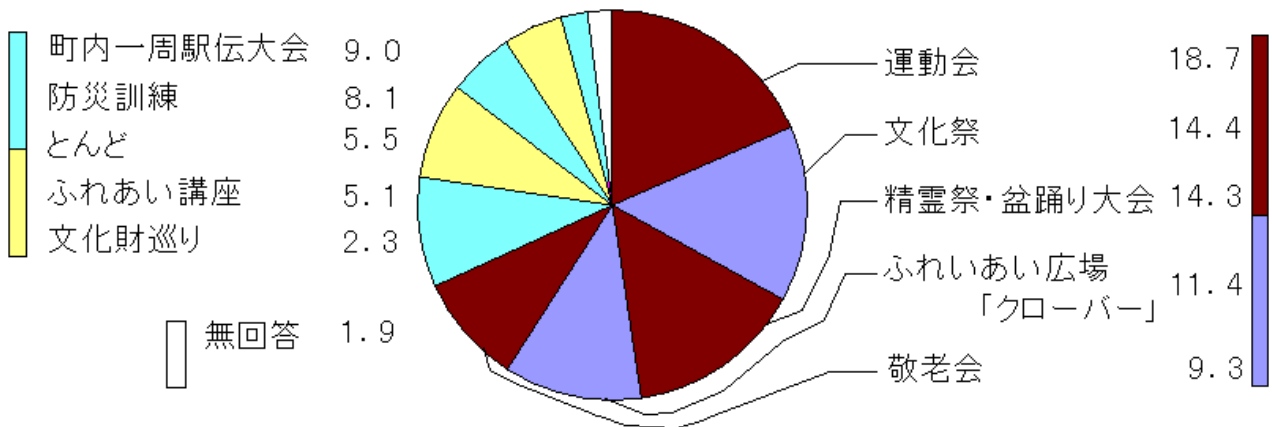
設問2 あなたの地域で「住みにくい」と特に感じる場所は何ですか。(複数回答可)



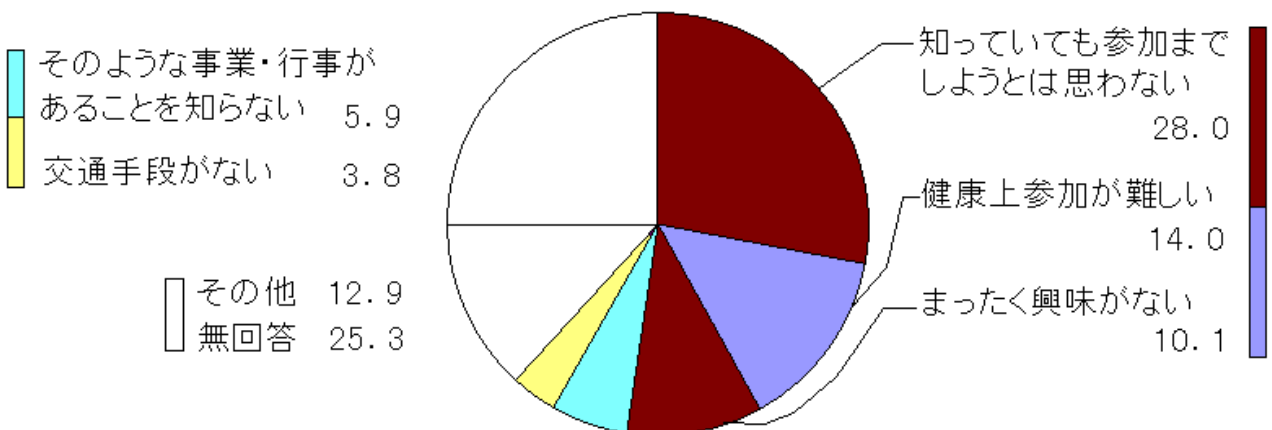
設問3 「協働のまちづくり」のことを知っていますか。



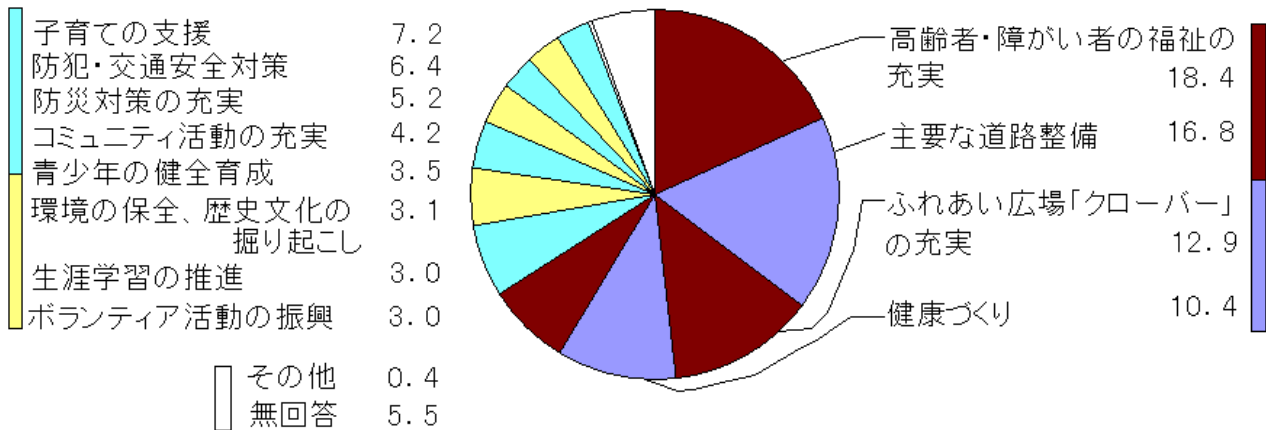
設問4 熊野学区では「まちづくり推進事業」として、次の行事や事業を行っています。参加されたことのある項目に○をつけてください。(複数回答可)



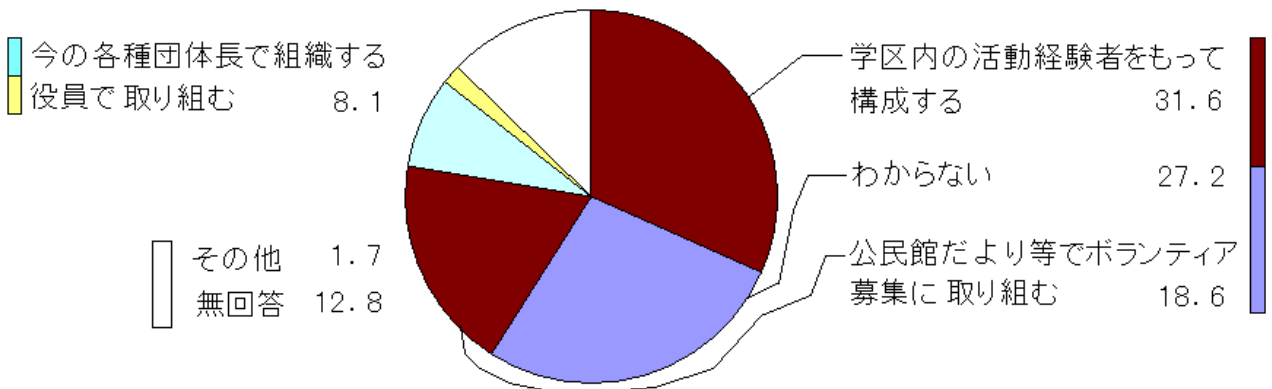
設問5 設問4で参加されたことがない人だけお答えください。該当する項目に○をつけてください。(複数回答可)



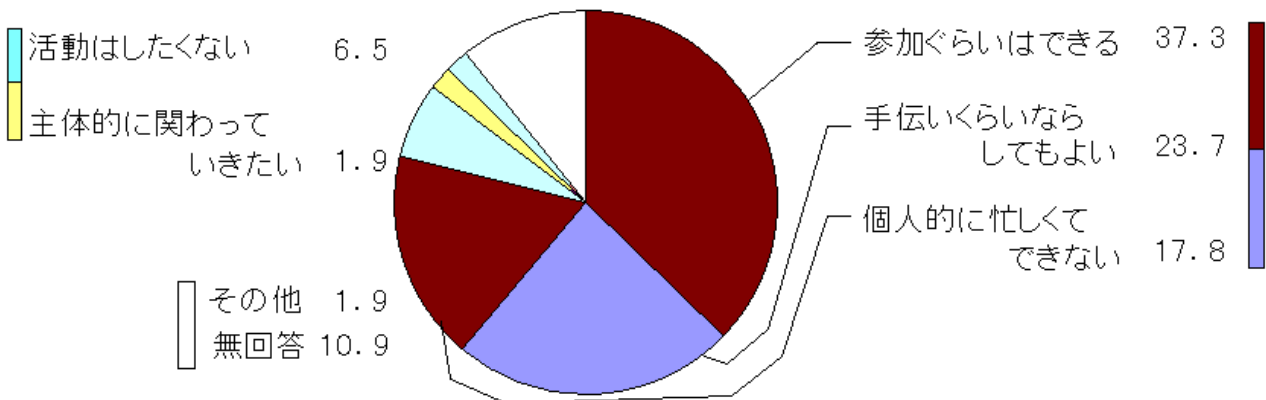
設問6 今後、熊野学区のまちづくりを進めていく上で、何を優先的に推進していったらよいと思いますか。(三つ以内を選び○をつけてください。)



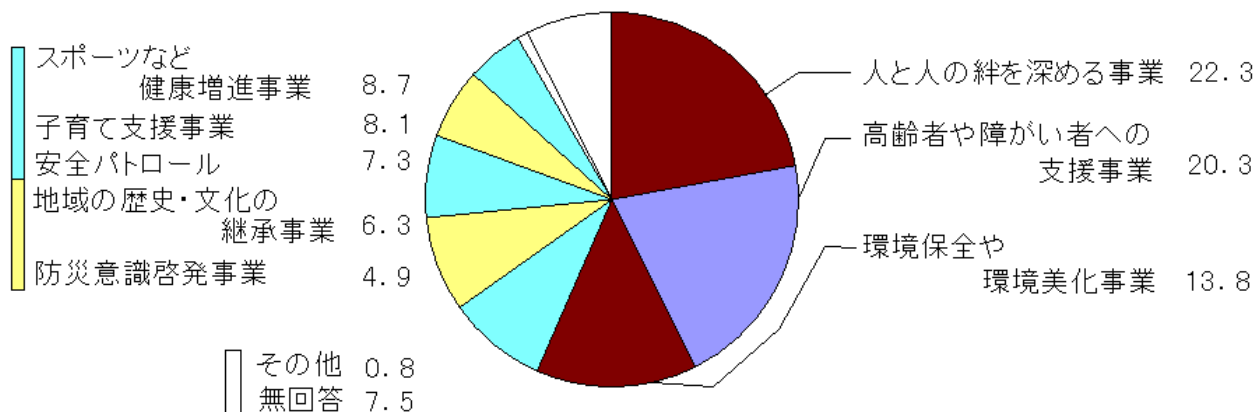
設問7 「協働のまちづくり」を進めるには、人材育成が欠かせませんが、どういう方法がよいと思いますか。(一つ選んで○をつけてください。)



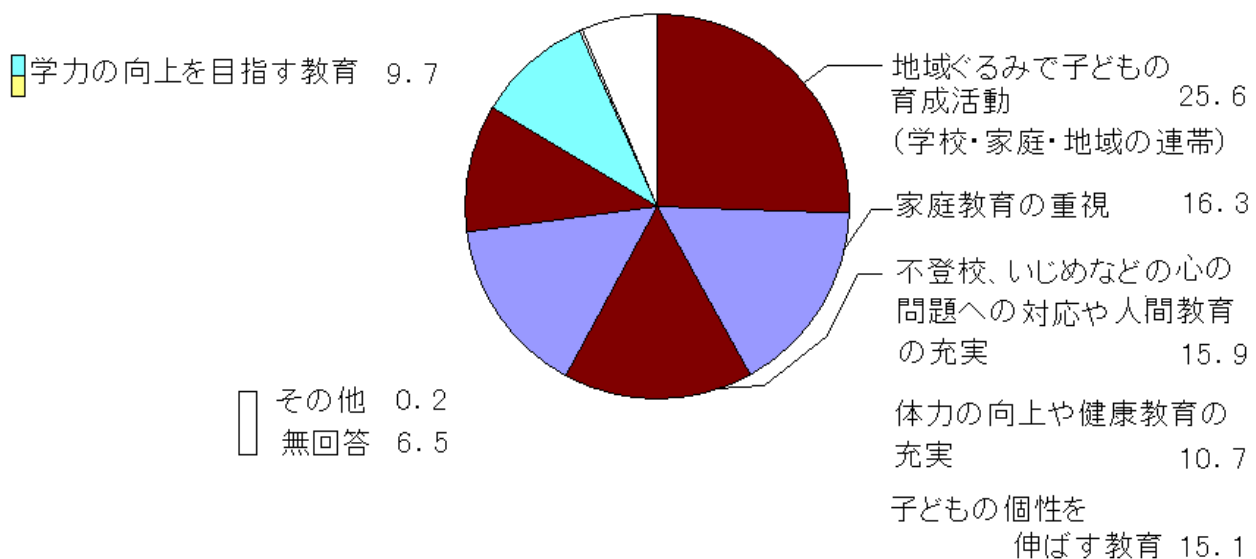
設問8 まちづくり活動で、あなたのできることは。(一つ選んで○をつけてください。)



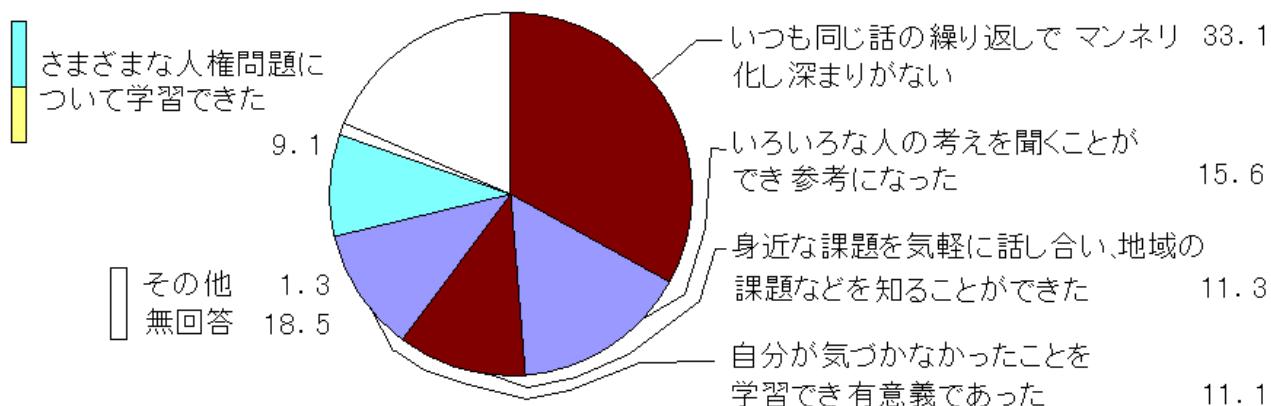
設問9 どのようなイベントや事業が必要と思われますか。
 (三つ以内を選び○をつけてください。)



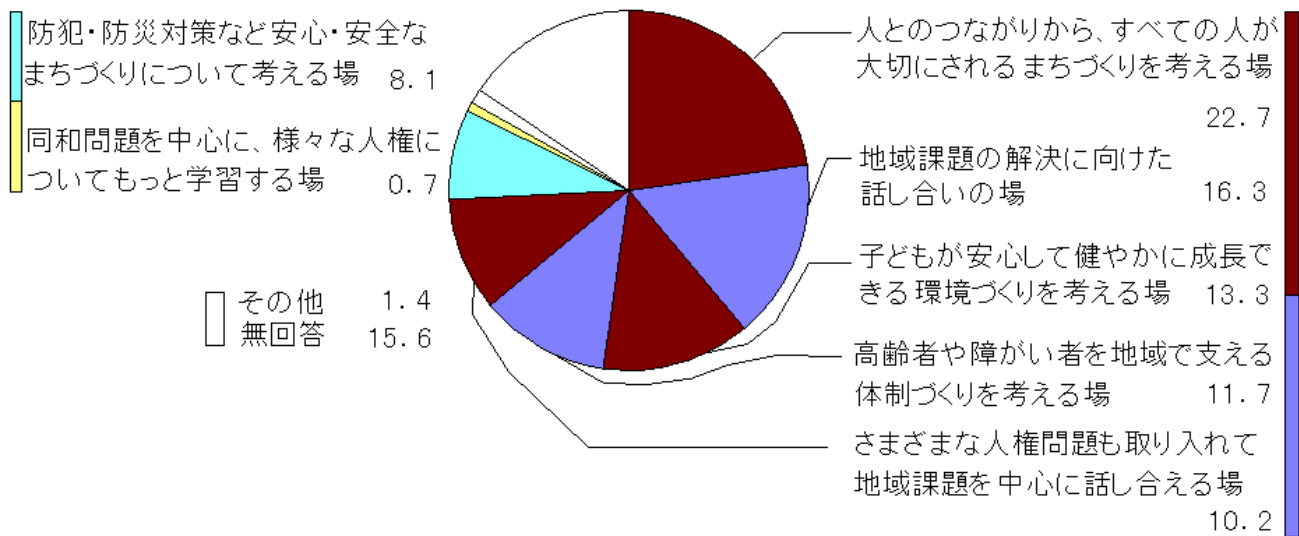
設問10 子どもに対して、学校や地域はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(二つ選んで○をつけてください。)



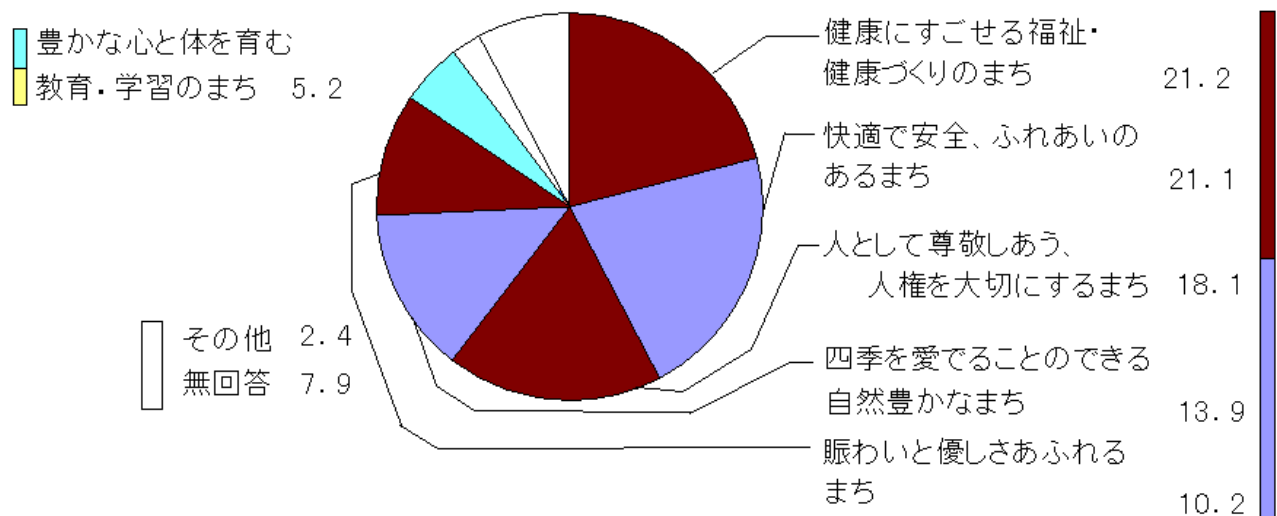
設問11 「差別のない、明るい、住みよいまちづくり」を目指して、毎年住民学習会が開催されていますがどう思いますか。該当する項目に○をつけてください。(複数回答可)



設問 12 住民学習会をどのような学習会の場にしたらよいと思いますか。
 (特に当てはまる項目に○をつけてください。)



設問 13 あなたの地域が将来どのようなまちであって欲しいと思いますか。
 (特に当てはまる項目を二つ選んで○をつけてください。)



くまの史跡めぐり

